

2025年7月別冊 夏季特集記事

製品認証部の調べ

2024年度の適合マーク使用実績

内発協の製品認証部では先頃、適合マークの使用報告を基にして「2024年度の発電装置に係わる適合マークの使用枚数（実績）」について、集計を実施しました。

このほど、集計の結果に基づき、適合マークの使用枚数や発電装置の設置容量を算出して、公表しました。

今般「7月別冊・夏季特集」として記事を作成し、掲載して報告します。

集計期間は2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度。2024年度中に実際に使用された適合マークの使用枚数（実績値）を集計しました。

集計の結果、「防災用自家発電装置」の適合マーク使用枚数は合計で5,594枚でした。前年度実績比で4.1%減でした。

また、防災用自家発電装置の出力は合計で1,016,337kWでした。前年度実績比で4.6%減でした。

一方、2024年度中に実際に使用された「常用防災兼用発電装置（以下、兼用機）」の適合マーク使用枚数は合計で3枚でした。前年度実績比で70.0%減でした。

また、兼用機の発電装置の出力は合計で1,530kWでした。前年度比で82.7%減でした。

なお、今回、本紙で掲載した「前年度実績（2023年度実績）」の集計値については、前回、本紙で掲載した2024年7月15日時点での集計値とは、一部の集計値が異なっています。その理由は、前回の掲載後、設置データをご提供頂いた会員会社から2023年度実績の追加データや修正データが届いたためです。

今回の集計では、後送分の設置データを合算して、再集計し直しました。それにより、精度の高い前年度実績値を算出したものを掲載しております。あらかじめご了承ください。

防災用自家発電装置

メーカー別

(24面の表1 参照)

●2024年度の適合マーク使用枚数（実績）の上位5社は、次のとおり。

順位	メーカー名	使用枚数(枚)	全体（5,594枚）に 占める割合(%)
1	ヤンマーエネルギーシステム(株)	2,690	48.0
2	ニシハツ(株)	1,240	22.1
3	(株)東京電機	894	15.9
4	デンヨー(株)	262	4.6
5	川崎重工業(株)	109	1.9

●また、出力（設置容量）の上位5社は、次のとおり。

順位	メーカー名	出力(kW)	全体（1,016,337kW）に 占める割合(%)
1	ヤンマーエネルギーシステム(株)	291,017.3	28.6
2	川崎重工業(株)	234,330	23.0
3	ニシハツ(株)	118,966.3	11.7
4	(株)東京電機	93,396.7	9.1
5	ヤンマーパワーテクノロジー(株)	56,560	5.5

●自家発電装置の出力をクラス別にみると、

- ▼Sクラス（100kW以下）：3,598枚（構成比率64.3%）
- ▼Mクラス（100kW超500kW以下）：1,655枚（同29.6%）
- ▼Lクラス（500kW超1000kW以下）：190枚（同3.4%）
- ▼Uクラス（1,000kW超）：151枚同2.7%）でした。

一方、出力のクラス別を前年度実績と比較すると、次の表のとおりでした。

出力クラス	合 計		前年同期合計		対前年度増減率(%)	
	枚数	出力(kW)	枚数	出力(kW)	枚数	出力(kW)
S	3,598	159,047.2	3,775	167,665.1	-4.6	-5.1
M	1,655	355,683.2	1,734	379,999.6	-4.5	-6.4
L	190	146,668.8	178	139,644.0	6.7	5.0
U	151	354,940.0	146	378,560.0	3.4	-6.2
全体	5,594	1,016,337.2	5,833	1,065,868.7	-4.1	-4.6

S、Mクラスでは、使用枚数、設置容量ともに減少しました。

Lクラスでは、使用枚数、設置容量ともに増加しました。

全体では、使用枚数は4.1%減、設置容量は4.6%減でした。

原動機種類別

(25面の表2参照)

●原動機別にみた、2024年度の適合マーク使用枚数の合計は、次のとおりでした。

▼ディーゼル機関：5,591枚（前年度実績分5,626枚）

▼ガスタービン：189枚（前年度実績分207枚）

▼ガス機関：0枚（前年度実績分0枚）

都道府県別

(26・27面の表3・4参照)

●都道府県別みた、2024年度の適合マーク使用枚数の合計が多い上位5地区は、次のとおりでした。

▼東京都：627枚

▼大阪府：363枚

▼愛知県：288枚

▼千葉県：260枚

▼神奈川県：259枚……といった順

●前年度実績分と比べて、2024年度の適合マーク使用枚数の合計が大幅な増加率を示した上位3地区は、次のとおりでした。

▼高知県：59.0%増

▼山梨県：54.3%増

▼滋賀県：43.1%増……といった順

施設種類別

(28面の表5参照)

●施設種類別みた、2024年度の適合マーク使用枚数が多い上位5施設は、次のとおりでした。

▼「各項以外の事業場」：2,021枚

▼福祉施設等：744枚

▼工場・作業場：564枚

▼百貨店・店舗：550枚

▼共同住宅等：314枚……といった順

●適合マーク使用枚数が一番多かった「各項以外の事業場」の主要施設としては、

■一般のビル

■ポンプ場及び浄水場等

■水道施設

■消防署等

■官庁舎

■銀行

■ダム等があります。